



協議会だより

令和8年2月吉日

足立区立第十二中学校
開かれた学校づくり協議会
会長 井門 明洋



令和7年度開かれた学校づくり協議会は、各自治会長、同窓会、校長、副校長、PTA顧問、PTAなど28名の委員で活動を行います。2月13日に第4回開かれた学校づくり協議会を開催し、学校評価、部会報告等、活発な意見交換が行われました。

1 開会の言葉 荒川 泰男 副会長

こんばんは。寒い中お集まりいただき、ありがとうございます。

冬のオリンピックでは、高校生ぐらいの若い人たちの活躍が目立っていますね。小さい頃からずっと続けてきて、今になって世界で戦える体力や知力、精神力を養えたという話を随分聞きました。

中学生、特に3年生にとっては、入試という人生で初めての自分を試される局面です。彼らが未来をどう見つめ、試験にどんな思いで臨んでいるのかを思うと、かつては自分もそういう時代を送ったことを思い出しつつ、今の子供たちが羨ましいと思うのは私だけではないかもしれません。とにかく、頑張ってくださいと思っています。

本日は久しぶりの学校評価も含めた様々な話題が盛り込まれています。皆様の忌憚のないご意見をいただきつつ、卒業を迎える3年生に、私たちからも陰ながらエールを送りたいと思います。今日もよろしくお願いいたします。

2 教育委員会挨拶 足立区教育委員会 学校支援課 学校地域連携担当係長 三ヶ島 誠次男 様

皆さまにおかれましては、開かれた学校づくり協議会を通じて第十二中学校の学校計画実現にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

本日、先ほど副会長からのご挨拶にもありましたように、校長先生からの自己評価、それに対する学校評価と、一年の流れの中で最も大きなお仕事となります。皆様の忌憚のないご意見をぜひお寄せいただき、より良い十二中学校に向けて来年度もご協力いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3 会長挨拶 井門 明洋 会長

皆さんこんばんは。お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。

本日のメインはやはり今年1年の学校評価だと思います。皆様の忌憚のないご意見をいただければ、大変ありがたく、今後に活かしていきたいと考えております。

また、現在インフルエンザB型が非常に多いと聞いております。特に受験生については、今のところ半分ぐらいが進路が決まっているものの、残り半分の生徒たちはこれから本格的に受験を迎え、自分の進路を決めなければならない時期です。インフルエンザ等、家族を含めて十分お気をつけいただきながら、活動していただければと思います。よろしくお願いいたします。

4 議題

(1)学校状況報告・学校評価 千葉 千登勢 校長

皆さん、こんばんは。今年度最後の協議会ということで、この1年間ご支援いただき、本当にありがとうございます。

まず3年生の状況ですが、受験に向けて開かれの皆様には面接練習などでご協力いただき、心より感謝申し上げます。都立推薦では24人受験し14人が合格、6割の合格率となりました。先生方が指導した中、生徒たちは心配されながらも一生懸命面接練習に取り組み、結果が出て本当によかったです。他の生徒たちは私立や併願・推薦の他、いよいよ来週土曜日には都立一般入試本番を迎えます。どうか最後まで頑張ってください。

1・2年生については、2年生が鎌倉への校外学習を終え、次の学年に向けて取り組んでいます。来週から学年末考査が始まるため、最後までしっかりやりきろうという雰囲気です。全校挙げて3月19日の卒業式に向け、各学年気を引き締めて指導しております。卒業式のご案内は月曜日にお出しします。式の開始は10時からです。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、令和7年度学校経営計画・自己評価書についてですが、スローガン「みんなで学び合い、高め合っていく十二中生！～対話や協働を通じて、ポジティブな行動を目指そう～」を掲げ、次期学習指導要領が目指す対話・協働のコミュニケーションを重視してきました。本校の生徒たちは素直で優しく、学校内では元気ですが、外に出るとおとなしい傾向があります。しかし、今年の3年生の面接合格は、そうした中でも「やる時はやる」自信がついてきた証拠だと嬉しく思います。

授業改善ではGIGAスクール推進校の指定を受け、ICTを活かした対話・協働の学びを全場面で推進しました。学級の人間関係が安定しているおかげで、そうした授業が成立しているのだと思います。生徒アンケートでは「生徒用タブレットをよく活用している」93.3%、「協働的な学びにおいて自分の考えを深めることができた」85.6%と肯定的な結果が出ました。

一方、基礎・基本の定着はまだ不十分です。5教科の朝学習や小テスト、放課後補充教室(ジャンプアップタイム)を実施しましたが、繰り返しが必要な子も多く、読書や家庭学習の習慣化が課題のように思います。勉強の遅れに対する不安の受け皿として、今年新設したSSR(スモールステップルーム)で個々のペースで学べる場を提供し、なかなか学校に来られないというようなことを最小限に抑え、SSRのおかげで学校に来続けられている生徒がいるというのは大きな成果だと思います。

学校行事(運動会、学芸発表会、宿泊行事など)は子どもたちの励みとなり、「100%近く頑張った」との声が多く上がりました。縦割り運動会で先輩後輩の絆も生まれ、生徒アンケートでは「楽しく安心して学校生活を送っている」は88.1%と昨年より向上しました。学校に来られるか来られないか、不安定な子への支援は関係機関と連携してさらに深めたいと思います。

地域連携では清掃活動や地域行事へのボランティア参加が増え、部活動では男子テニス部・体力づくり部(ダンス・陸上競技)の増設により、体を動かしたい生徒の活躍の場が広がりました。1年生の表彰例もあり、2・3年生への良い刺激となっています。ダンス部は地域の流し祭りなどでも出演予定です。

課題はありますが、アンケート結果など少しずつ成果が上がってきています。引き続きご指導・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(2) 情報交換

特になし

5 部会 (今年度の活動について 来年度への引継事項)

6 各部会報告

< 評価部会 : 評価活動 >

- ・学校関係者評価書は、先週金曜日に評価部員・校長先生・副校長先生とで約2時間協議し、まとめたものです。
- ・保護者アンケートで「1・2」が多い点について、保護者が学校を訪問する機会が増えればまた違った評価になるのではないかなという話が出ました。生徒の「学力をもっと伸ばしたい」意欲についても話題になりましたので必要に応じて付け加えて頂ければと思います。

< 家庭教育部会 : 講演会 企画・運営 等 >

- ・今年度の講演会・あいさつ見守り運動へのご参加、ありがとうございました。
- ・来年度も講演会を実施予定ですが、課題として、時期・タイトルを早めに決定し、広報方法を検討したいと思います。
- ・あいさつ見守り運動は2班に分けると人数が少ないため、来年度は参加できる方全員で第3水曜日に実施予定です。

< 土曜事業部会 : サタデースクール運営 等 >

- ・次年度募集案は副校長先生作成のものをベースに、例年通りとしつつ、夏休み最終日付近や冬休み開始直後の追加実施を検討、課題としています。サマースクールは次年度も実施できる予定です。
- ・今年のボランティアは社会人2名・学生10名で、1日平均4名程度(委員含め6名程度)の参加がありました。次年度も見込み良好ですが、学生ボランティア卒業後の継続が課題のため、募集は継続していきたいと思います。
- ・今年度参加生徒向けに、卒業生への贈り物、皆勤賞の生徒などへの記念品も検討しています。

< 広報部会 : 協議会日より発行 等 >

- ・今年度と同様、来年度も年3~4回の協議会日よりの発行を目指します。メンバーは一部変わりますが、引き続きよろしくお願いいたします。

7 コミュニティスクールについて

コミュニティスクールについて校長先生よりご説明があり、三ヶ島様による補足説明、井門会長他様々な方々からのご意見、ご質問等、活発な議論が行われました。

8 閉会の言葉 浦山 太市 副会長

卒業を前にして、生徒たちは日々悩みながら学校生活を送っています。そんな子どもたちを応援するのが学校であり、我々の役割だと思います。楽しく過ごせている生徒が増えているのは嬉しいことですし、学校はそんな場所であってほしいと思います。今年度もお疲れ様でした。